

武蔵村山市

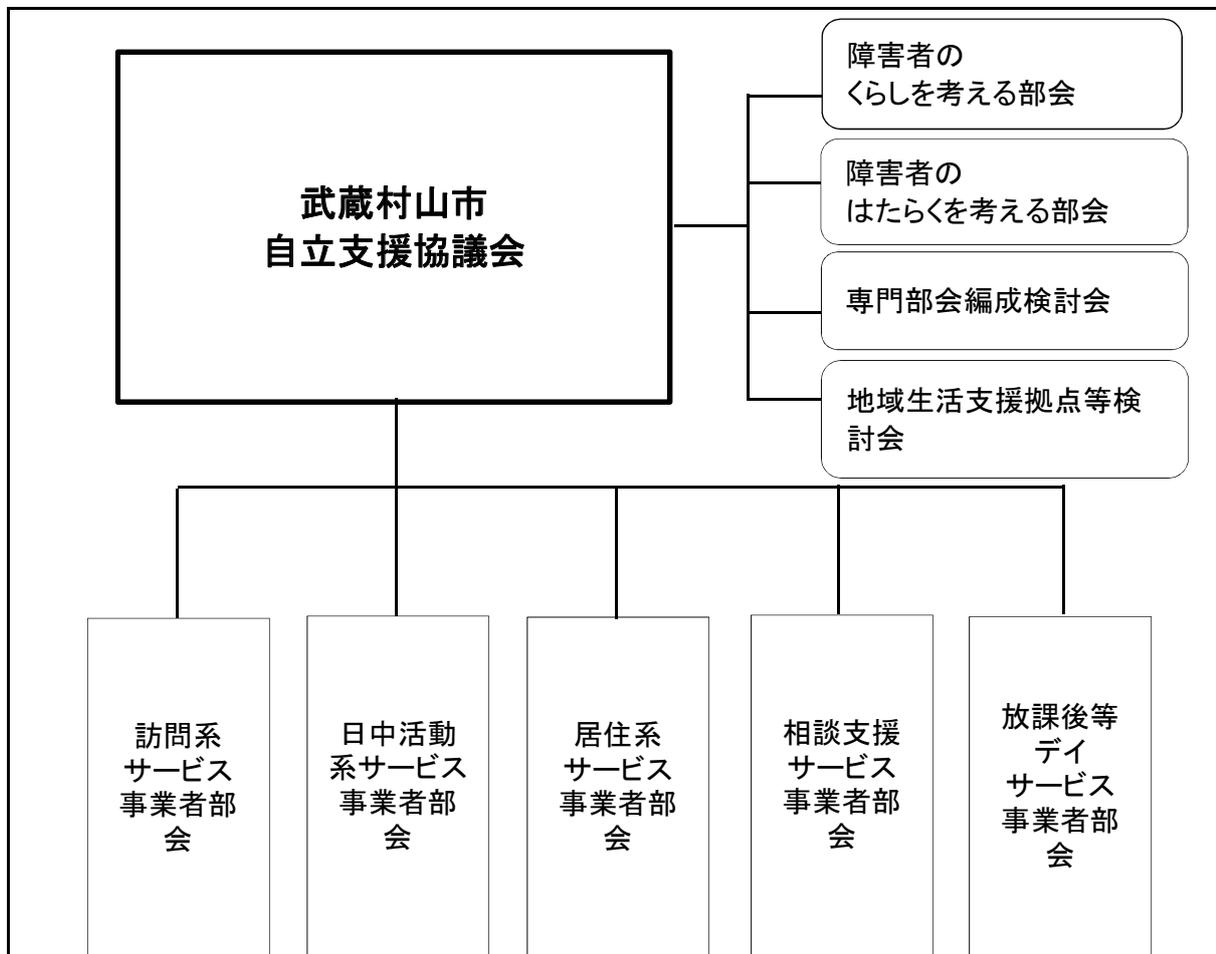
【名称】 武蔵村山市自立支援協議会

【ホームページURL】 <http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kurashi/shougai/jiritsushien/1000726.html>

【設置年月】 平成22年10月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
0	2	1	1	6	3

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	令和2年3月頃	面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
4	21 (5)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
障害者のくらしを考える部会	6	9 (5)
障害者のはたらくを考える部会	5	5 (0)
訪問系サービス事業者部会	4	6 (0)
日中活動系サービス事業者部会	6	16 (0)
居住系サービス事業者部会	4	11 (0)
相談支援サービス事業者部会	6	6 (0)
放課後等デイサービス事業者部会	6	8 (0)
専門部会編成検討会	2	8 (0)
地域生活支援拠点等検討会	2	10 (0)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1)委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	0	医療関係者	1	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	5	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	7	社会福祉協議会	0	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	2	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	21				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	高橋 毅	社会福祉法人あかつきコロニー	障害福祉サービス等事業者	
2	副会長	椎木 俊秀	東京小児療育病院	医療関係者	
3		小林 冬子	東京都多摩立川保健所	保健所	
4		大沼 眞弓	東京都立村山特別支援学校	教育関係機関	
5		宮澤 ひとみ	武蔵村山市民生(児童)委員協議会	民生・児童委員	
6		陰山 行弘	武蔵村山市身体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
7		柳 清美	武蔵村山市手をつなぐ親の会	障害当事者・家族・関係団体	
8		須永 美智子	武蔵村山市聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
9		岩瀬 香世	心身障がい者(児)親子の会フレンズ	障害当事者・家族・関係団体	
10		千田 祐子	きらり～発達障害と共に成長する家族の会～	障害当事者・家族・関係団体	
11		押田 友紀子	武蔵村山市精神障害者地域活動支援センターお伊勢の森	相談支援事業者	
12		佐藤 達也	武蔵村山市社会福祉協議会特定相談支援事業所	相談支援事業者	
13		名取 浩美	サンシャインホームヘルパーステーション	障害福祉サービス等事業者	
14		佐々木 久子	ケアホームあしたば	障害福祉サービス等事業者	
15		平田 将太郎	バディー訪問介護	障害福祉サービス等事業者	
16		鮫嶋 由美子	放課後等デイサービスクローバー	障害福祉サービス等事業者	
17		茂木 正義	第二えのき園	障害福祉サービス等事業者	
18		来栖 眞理子	立川公共職業安定所	雇用関係機関	
19		富田 眞貴子	武蔵村山市障害者就労支援センターとらい	雇用関係機関	
20		榎本 勝	公募委員	地域住民	
21		諏訪 潤	公募委員	地域住民	

(2)活動内容

各事業者部会等からの開催報告をもとに協議を行った。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

部会 種別	障害者の くらしを 考える部会	障害者の はたらくを 考える部会	訪問系 サービス 事業者部会	日中活動系 サービス 事業者部会	居住系 サービス 事業者部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	0	0	0	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	1	0	0	0	0
雇用関係機関	0	2	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	5	0	0	0	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	1	0	1	1	1
障害福祉サービス等事業者	2	3	5	15	10
社会福祉協議会	0	0	0	0	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	9	5	6	16	11

部会 種別	相談支援 サービス 事業者部会	放課後等 デイサービス 事業者部会	専門部会 編成検討会	地域生活支援 拠点等検討会
学識経験者	0	0	0	0
医療関係者	0	0	0	0
保健所	0	0	0	0
教育関係機関	0	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0	0
企業	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	0	1	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0
相談支援事業者	6	0	1	6
障害福祉サービス等事業者	0	8	6	4
社会福祉協議会	0	0	0	0
法曹関係者	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	6	8	8	10

(2)活動内容

部会名称	活動内容
障害者のくらしを考える部会	障害者やその家族の視点で暮らしやすいまちを目指し、防災に関する研究やヘルプバンドナの予算要望を行った。
障害者のはたらくを考える部会	障害者の工賃向上のため、公共事業の特命随意契約のあり方や雇用に関する理解促進のための障害者雇用見学会の開催及び市内福祉事業所で職場体験実習等を行った。
訪問系サービス事業者部会	居宅介護ヘルパーが不足している現状や必要性を啓発するため、事業者間の意見交換や事例検討を行った。
日中活動系サービス事業者部会	各事業所の取組を共有しつつ、事業者間の意見交換や施設見学会等を行った。
居住系サービス事業者部会	障害福祉支援マップを作成し、障害福祉課前のホワイトボードに掲示した。
相談支援サービス事業者部会	困難事例についての意見交換等や相談員の人員不足による障害者へのサービス低下を防止するための方策の検討等を行った。
放課後等デイサービス事業者部会	障害児支援の充実を目指し、障害児の家庭問題を重視しながら特別支援学校との情報共有や障害児虐待防止の抑止に重点を置いた協議を行った。
専門部会編成検討会	7つの専門部会が主に各同業者間の情報交換の場となっているという意見について検討を重ねた。専門部会には、より一層、地域の課題を議論する場としての機能を充実させるために、7つの専門部会を4つの部会に再編成した。
地域生活支援拠点等検討会	令和2年度末までに整備すべき地域生活支援拠点の整備手法を検討し、既存の資源を生かす面的整備型とすることや地域の課題について検討を行った。

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項(複数回答)

② 就労支援に関すること

障害者就労施設等からの物品等の調達の実績について

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

災害時のヘルプバンドナ作成について市長あてに要望書を提出するとともに、災害対策部署との連携を図った。

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

就学前障害児の児童発達支援の無償化について

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点等検討委員会の設置について

⑩ 障害福祉計画等に関すること

第五次障害者計画等策定に向けたアンケートの実施について

⑪ 地域自立支援協議会の運営に関すること

専門部会編成検討会の設置について

⑫ 他区市町村との連携に関すること

地域自立支援協議会交流会に参加した。

2 協議会としての役割(複数回答)

⑥ 課題解決に向けての検討

災害発生時の障害者の避難場所、避難方法、備蓄品、避難所でのケアなどを市の災害対策部署に確実に伝えることにより、防災計画に反映させていくこと。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

第五次障害者計画策定方法及び内容への提言

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

東京都自立支援協議会主催の地域自立支援協議会交流会に出席し、その内容を共有した。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法(複数回答)

②全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容(複数回答)

② 社会資源の開発及び改善

地域生活支援拠点等検討会に対する提言

③ 権利擁護・虐待防止

虐待防止講演会の開催や研修への参加について積極取組を継続している。

⑥ 緊急・災害等対応

災害時の障害者の避難方法、避難場所及び要支援者へのヘルプバンドナの活用方法等

4 協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)が参加していくにあたり、取り組んでいること、課題になっていること

障害当事者の多様な意見を十分に反映させるため、当事者協会、家族の会、親の会と連携を深めている。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸い上げられる協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

各専門部会には地域で生活する多様な声が寄せられることが多く、部会としての意見を地域協議会で発信できるように各専門部会長が地域協議会で報告を行う機会を必ず設けている。